

「心のあるところに宝もある」

1. はじめに

- ・パリサイ人の偽善に気をつけなさい。12:1
- ・信仰と富、貧困について。富、貧困と欲、貪欲について。

2. 本文

* 13節：群衆の中の一人がイエスに言った。

・遺産を分けるように言ってください。(参：申命記21:15~17)

・16節：貪欲といのちの関係のたとえ。(16~21節)

①ある金持ちの畑が豊作であった。16節。②どうしよう。しまっておく場所がない。17節

③こうしよう。もっと大きいのを建てよう。18節。④たましいに言おう。これで安心だ。

19節。⑤神は言われた。おまえのたましいは今夜取り去られる。20節。

・21節：自分のために蓄えても、神に対して富まない者はこのとおりです。

* 「いのち」：創世記2:7「その大地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。」

* マタイ16:25, 26

・自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるのでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。

* 22節：それからイエスは弟子たちに言われた。

・「ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようかと、いのちのことで心配したり、何を着ようかと、からだのことで心配したりするのはやめなさい。」

・理由：いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものだから。

* 「いのち」と「からだ」は地上における、私たちの存在を二つの視点から見たもの。

・鳥のこと。草花のこと。

・聖書はいのちとからだを分けて考えない。

・28節：今日は野にあって、明日は炉に投げ込まれる草さえ、神はこのように装ってくださるのなら、あなたがたには、どんなに良くしてくださることでしょう。信仰の薄い人たちよ。

・心配といのちと信仰。

・クリスチャンの徳目に注目するのではなく、神が人を救おうとしてどのように臨在して下さり、実際どのように救ってくださるか、にある。それは私たちが神の恵みに参加する恵みである。

3. まとめ

- ・34節：あなたがたの宝のあるところ、そこにあなたがたの心もあるのです。
- ・主を信じる信仰とその信仰内容。